

高松栗林公園における利用実態に着目した回遊特性分析

義原 望実*・石内 鉄平**

*明石工業高等専門学校 建築・都市システム工学専攻、**明石工業高等専門学校 都市システム工学科

はじめに

本研究で対象とする高松栗林公園は、6つの池、13の築山から構成されており、日本で最大の広さを誇る回遊式庭園である（香川県栗林公園観光事務所、2000）。園路には曲線が多く用いられているため、利用者は園路上を移動することによって自身の視線を逐次変化させることが可能であるが（篠原，1998）、実際の利用者がどのように利用し、楽しみ、魅力を感じているのか明確ではない。そこで本研究では、利用者の意識や回遊特性、デジタルカメラで撮影した被写体を把握することにより、利用者が感じる庭園内の隠れた魅力や利用者の世代による利用の違いなどを発見することを目的とする。

1. 調査方法

2011年9月および11月に計4回の利用実態調査を行った。調査の概要を表1に示す。本調査では、①紙面によるアンケート調査、②追跡調査による利用者の回遊行動の把握、③ビューポイント調査の3点を実施した。

2. 調査結果

調査結果より図1に栗林公園側が推奨するルート（左図）と追跡調査により得られた回遊行動の結果（右図）を示す。

3. 考察

アンケート調査より20代の利用者が最も多く、続いて30代、50代となり、多様な年代に利用されていることが

表1 調査の概要

2011年9月調査	回答者数	29部	2011年9月調査	回答者数	27部
	調査方法	アンケート調査		調査方法	追跡調査
	調査日	平成23年9月4日(日)5日(月)		調査日	平成23年9月4日(日)5日(月)
	対象範囲	栗林公園全域		対象範囲	栗林公園全域
2011年11月調査	回答者数	40部	2011年11月調査	回答者数	38部
	調査方法	アンケート調査		調査方法	追跡調査
	調査日	平成23年11月5日(土)6日(日)		調査日	平成23年11月5日(土)6日(日)
	対象範囲	栗林公園全域		対象範囲	栗林公園全域
	天気/曇			天気/曇	
	気温	27.7℃/26.1℃		気温	27.7℃/26.1℃
	天気/曇			天気/曇	
	気温	19.7℃/20.6℃		気温	19.7℃/20.6℃

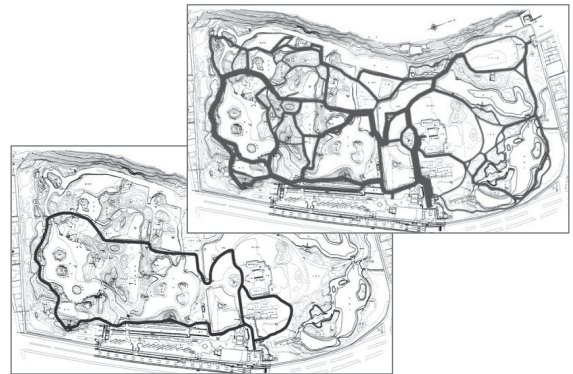


図1 推奨ルート（左図）と回遊行動図（右図）

わかった。また、図1より多くの利用者が栗林公園管理者の推奨する回遊ルート利用していると読み取れるが、これは推奨ルートマップが利用者一人一人に配布されているためであり、マップを頼りに回遊する利用者の存在が推測される。一方、図1より利用者は推奨ルート以外にも、さまざまなルートを回遊していることがわかる。このことから推奨ルート以外にも栗林公園には魅力があると思われ、ビューポイント調査の結果を通して、栗林公園がPRしている景色の他、さまざまな地点や被写体に対して利用者は魅力を感じていることがわかった。

おわりに

本研究において、属性や回遊行動分析により、年代の違いや推奨ルート以外を回遊する利用者の存在を確認することができた。さらなるビューポイント調査結果の分析を今後の課題として明記し、回遊行動とビューポイントとの関連性について検証作業を進めていきたい。

謝 辞

本研究を遂行するにあたってご協力いただいた香川県栗林公園観光事務所の職員の方々、ならびにアンケート調査にご協力いただいた来園者の方々に、ここに記して謝意を表する。

引用文献

香川県栗林公園観光事務所（2000）特別名勝栗林公園。pp. 1-21
篠原修（1998）景観用語辞典。彰国社。pp. 32-35